

高木玲奈 高蔵寺高校

進学先：名城大学(農)

合格校：名城大学 中部大学

入塾時期：高2 夏期講習

①創ゼミという塾について

私は高2の夏期講習に参加し、入塾しました。中学の時の塾が学校の授業みたいで窮屈だったため、塾自体にいい印象を持っていませんでした。けれど創ゼミは先生方が一人一人にやるべき事を教えてくださり、前向きに受験勉強を進めていくことができました。また、周りに努力している人がたくさんいて、常に高いモチベーションを保って勉強することができました。

②特に力を入れて頑張った科目

特に力を入れたのは理科です。私は物理も化学もすごく苦手です。いつも半泣き状態でした。それでもくじけずに必死に勉強し、12月に入って急に点数が伸び始めました。私立対策の時も1問ずつしっかり見てくださったり、できた方がいい問題を示してくれたりと最後までアドバイスを頂き、励みになりました。

③共通テスト対策の重要性について

共通テスト対策はどの教科においても量がとにかく大事です。特に漢文などは何個も解いていくうちに点数が安定していきます。伸びは始める時期は人それぞれで、理科においては私はとても遅かったです。だけど繰り返しの演習以外に近道はないと思います。本番で落ち着いて解くためにも、数をこなすことが大事だと思います。

④合格までの道のり

私は部活動が3年の5月までありました。とてもハードな毎日で、家に帰ると疲れて寝てしまい勉強どころではありませんでした。試合の待ち時間の数分で必死に英単語と漢文を勉強していました。引退してからは他の塾生についていこうと焦りながらも、先生方の手厚いご指導のおかげで迷わずに勉強を進めることができました。

⑤塾のテストの重要性について

英単も漢文も、小テストの範囲が毎回1からだったので、記憶を定着させることができました。英単は満点を取れた事があまりないけれど、それでも毎回満点をとるつもりで勉強しました。英単も漢文も覚えないと文章は読めません。覚えたからといってすぐに点数になる訳ではないけど、うろ覚えの状態はとても不安になります。問題を解くための準備運動だと思って前向きに取り組んでいってください。

⑥後輩塾生へのアドバイス

後輩塾生のみなさんに伝えたいのは、苦手教科を諦めないということです。私は理科でいつも足を引っ張り、倫理で少し稼いでました。だけど共通本番は倫理で大幅にやらかし、理科の点数に助けられました。名城も、最後は化学のおかげで合格できました。その時はじめて、化学を頑張ってきてよかったと思えました。誰にでも苦手教科はあるけど、しっかり時間をかけて対策すべきだし、先生に相談したら解決策をとってくれるはずですよ。だから最後の最後まで諦めずに戦ってください。応援しています！